

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成20年度 技術情報第19号(施設野菜類の灰色かび病・菌核病)について (送付)

施設野菜類の灰色かび病・菌核病について情報を取りまとめましたので送付します。

### 平成20年度 技術情報第19号

施設野菜の灰色かび病と菌核病の発生が多くなっています。向こう1か月の天候は平年に比べ曇りや雨の日が多いと予想されており、今後もハウス内の湿度が高くなりやすいので、湿度対策を十分行い、防除を徹底してください。

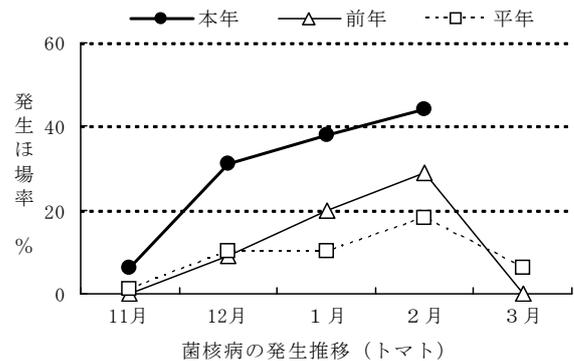
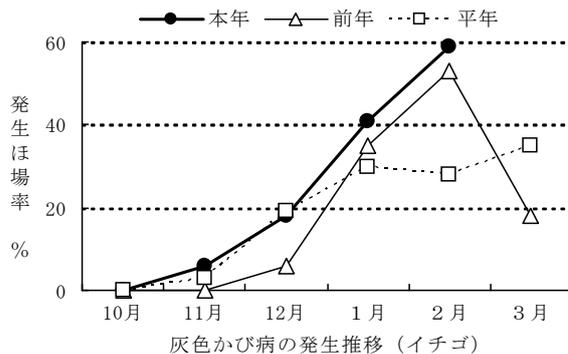
1 対象作物 施設野菜類 (トマト, イチゴ, ピーマン, キュウリ, サヤインゲン等)

2 対象病害虫 灰色かび病・菌核病

3 予報内容

(1) 発生地域 県本土

(2) 発生量 多



#### 4 予報の根拠

- (1) 2月の巡回調査では、灰色かび病の発生ほ場率が、トマトとイチゴで平年よりも高く、イチゴでは発生程度の高いほ場も認められた。
- (2) 菌核病は、トマトで発生が多く、欠株が多く出ているほ場も認められた。
- (3) 向こう1か月の天候は、気温が高く、降水量が多い(日照時間が少ない)と予報されており、今後も発生しやすい条件が続くと予想される。

表1 灰色かび病の発生ほ場率 (%)

| 作物名  | 本年 | 平年 | 前年 |
|------|----|----|----|
| トマト  | 56 | 40 | 47 |
| イチゴ  | 59 | 28 | 53 |
| ピーマン | 6  | 6  | 0  |
| キュウリ | 27 | 39 | 36 |

2月中旬調査

表2 菌核病の発生ほ場率 (%)

| 作物名  | 本年 | 平年 | 前年 |
|------|----|----|----|
| トマト  | 44 | 18 | 29 |
| イチゴ  | 6  | 5  | 6  |
| ピーマン | 6  | 9  | 0  |
| キュウリ | 27 | 26 | 45 |

2月中旬調査

#### 5 防除上注意すべき事項

- (1) 多層被覆下では暖房機の稼働時間が少なくなり、施設内の空気が停滞する時間帯が長くなるため、暖房機の送風機能や循環扇を活用して湿度の低下を図る。
- (2) 発生がみられたほ場では、間隔を詰めた連続防除や丁寧な薬剤散布を行うなど、早急に徹底防除に努める。
- (3) 発病葉・果実はこまめにほ場外へ持ち出して処分し、菌密度の低下を図る。サヤインゲンは登録農薬が少ないので、発病部位の除去と早期防除を徹底し、農薬使用回数の低減を図る。
- (4) 同一系統薬剤の連用を避け、作用性の異なる薬剤とのローテーション散布を行う。